



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA
～平和と希望への祈り～

音楽の花束

〈春・秋・冬〉

～広響名曲コンサート～

「名曲」——それはミューズ（音楽の女神）の世界に咲く多彩な花々。

2015年
春 5.10 (日) 15:00 開演
(14:00開場)

指揮：現田 茂夫
トランペット：フロリアン・ピヒラー
ハイドン：トランペット協奏曲変ホ長調Hob.VIle-1
ビゼー：「カルメン」組曲第1番
アルチュニアン：トランペット協奏曲
ビゼー：「カルメン」組曲第2番



Shigeo Genda



Florian Pichler

2015年
秋 11.3 (火・祝) 15:00 開演
(14:00開場)

指揮：秋山 和慶
ピアノ：ギャレット 宇見
モーツァルト：歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」K.588～序曲
シューマン：ピアノ協奏曲イ短調Op.54
ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調Op.55「英雄」



Kazuyoshi Akiyama



Umi Garrett

2016年
冬 2.14 (日) 15:00 開演
(14:00開場)

指揮：クレメンス・シュルト
チェロ：オーレリアン・パスカル
格林カ：歌劇「ルスランとリユドミラ」Op.5～序曲
サン＝サーンス：チェロ協奏曲第1番イ短調Op.33
チャイコフスキー：交響曲第5番ホ短調Op.64



Clemens Schuldt



Aurélien Pascal

広島国際会議場フェニックスホール

広島市中区中島町1-5(平和記念公園内) TEL:082-242-7777

“あなただけのマイシート”

名曲コンサートへは、1回券より
断然お得な会員がおすすめです！

料金 (3回分) S席/8,800円 A席/6,700円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(5月8日まで受付)

料金 (1回分) S席/4,200円 (ペア 6,400円) A席/3,200円 B席/2,200円
[税込/全席指定] 学生/1,500円 (広響事務局のみ取扱い)

主催/広島市・公益財団法人広島市文化財団・公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社
協賛/株式会社 花満・広島県医師会・広島市医師会
春公演特別協賛/中国電力

お問い合わせ/広響事務局 Tel.082-532-3080[受付時間 平日 9:00～17:20]

チケット取扱い

発売日：[春公演]=2/23(月) [秋公演]=5/11(月) [冬公演]=11/4(水)

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド
福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン
広島アーツ楽器・アステールプラザ情報交流ラウンジ
中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局
チケットぴあ
(Pコード=[春公演]251-989 [秋公演]251-990 [冬公演]251-991)
ローソンチケット
(Lコード=[春公演]66413 [秋公演]66414 [冬公演]66415)

Pコード、Lコードは公演により異なりますのでご注意ください。

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。

音楽の花束〈春・秋・冬〉～広響名曲コンサート～

「名曲」—それは、ミューズ（音楽の女神）の世界に咲く多彩な花々。
名曲の数々を花束にして、あなたとあなたの大切な方へお贈りします。

指揮：現田 茂夫

Shigeo Genda, conductor

東京音楽大学指揮科で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。

96年より13年間神奈川フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年4月より名誉指揮者の称号を得る。他の主要オーケストラも数多く共演し好評を得ている。また世界的チェリスト故ロストロポーヴィチと皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高い評価を得た。オペラ指揮者としても経験豊かで、東京二期会、関西二期会での指揮も行っている。02年からは錦織健プロデュースオペラの音楽監督も務め2年ごとに全国公演。11年にはアンサンブル金沢と金沢歌劇座・兵庫県立芸術文化センター他（5都市6公演）で“椿姫”。昨年は市川右近新演出“夕鶴”の全国公演も行い高評価を得た。

また、アントニオ・ベドロッチェ国際指揮者コンクール（イタリア）の審査員や、NHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティにとんだ活動を行なっている。

トランペット：フロリアン・ピヒラー

Florian Pichler, trumpet

オーストリア出身。トランペット奏者の父親の影響で、7歳でトランペットを始める。11歳で地元の brass band に所属。高校に在学中も、グラーツ芸術大学でフランツ・トッシュに師事し、ウィーン放送交響楽団の第2トランペット奏者を務める。2012年にはウィーン国立音楽大学でヨハン・ブランクに師事。

2011年オーストリア青少年音楽コンクールで優勝し、ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団、ウィーン放送交響楽団、グラーツ・フィルハーモニー交響楽団などのオーケストラに参加。2014年9月、18歳でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーとなる。

指揮：秋山 和慶

Kazuyoshi Akiyama, conductor

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、桐朋学園大学音楽学部卒業。1964年に東京交響楽団を指揮してデビューのち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。また、トロント交響楽団の副指揮者を皮切りに、バンクーバー交響楽団などの音楽監督を歴任したほか、クリーヴランド管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィル、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマンド管弦楽団などの他、多くのオーケストラに客演している。広島交響楽団とは1998年に首席指揮者・ミュージックアドバイザーとして就任後、2004年からは音楽監督・常任指揮者として、定期演奏会やディスカバリー・シリーズ、海外公演などで広響の能力を飛躍的に伸ばし、各方面から高い評価を受けている。これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞、広島市民賞、中国文化賞など多数受賞、紫綬褒章、旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出された。

ピアノ：ギャレット 宇見

Umi Garrett, piano

4歳よりピアノを習い、8歳の時に米国NBCのエレン・デジェネレスショーで演奏。同年、カリフォルニア州デザートシンフォニーとの共演によりオーケストラデビュー。

第13回大阪国際音楽コンクールピアノ部門（Age-E2）1位、ハンガリーで行われたショパン国際コンクール「ショパン プラス」1位、ブラッドショー&ボーン国際ピアノコンクール1位を受賞。2010年、コネチカット州ハートフォードで行われたショパン国際コンクールで最優秀賞を受賞し、カーネギーホールで演奏した。近年では、カナダのウィニペグ交響楽団とショパンのピアノ協奏曲第1番を共演した際、ウィニペグ・フリー・プレス紙より並外れた音楽性と華麗な演奏技術が絶賛された。

これまでに武漢交響楽団、リエパーヤ交響楽団、ボストンポップスオーケストラ、インディアナポリス室内管弦楽団、ミズーリ交響楽団などと協演、ヨーロッパ諸国、南米等でも演奏活動を行っている。13歳で、ヤング・スタインウェイ・アーティストに選ばれ、現在最も期待される若手音楽家である。

指揮：クレメンス・シュルト

Clemens Schuldt, conductor

ドイツのプレーメン生まれ。2010年権威あるドナテッラ・フリック指揮コンクールで優勝。ワーグナー「前奏曲と愛の死」はインディペンデント紙で絶賛された。

現在、ロンドン交響楽団アシスタント・コンダクターとしてコリン・デイヴィス、ワレリー・ゲルギエフ、ダニエル・ハーディング、サイモン・ラトル等のサポート、自身も同響を指揮、その他ベルリン・ドイツ交響楽団、MDRライプツィヒ放送交響楽団、WDRケルン放送交響楽団、BBCウェールズ交響楽団、マリンスキー歌劇場管弦楽団等に客演している。

オペラでは、ケルン室内オペラや数々のプロダクション、オペラ・ガラ・コンサートを指揮、またザルツブルク音楽祭「ルル」でマルク・アルブレヒトの、エクサン＝プロヴァンス音楽祭「皇帝ティトゥスの慈悲」でコリン・デイヴィスの、ウィーン・フォルクス・オーパー「天国と地獄」でフロリアン・ルートヴィヒのアシスタントも務めている。今後、ゲルゼンキルヒェン歌劇場「ルサルカ」の指揮が予定されており、ドイツ音楽会期待の指揮者である。

チェロ：オーレリアン・パスカル

Aurélien Pascal, cello

弱冠11歳で、ロストロポーヴィチ・ジュニア・コンクール入賞。2011年にはアンドレ・ナヴァラ国際コンクールにて、最も優秀な新人としてギュイ・ボスマン賞を贈られた。パオロ国際チェロ・コンクールで第2位に輝き、「18歳という若さながら稀に見る力強さとの上ない優雅さを併せ持つ」と絶賛された。2014年11月にはエマニュエル・フォイアマン・グランプリで第1位に輝き、協奏曲賞と聴衆賞も同時に受賞した。

音楽一家に生まれ、シュタルケルのマスタークラスを受講。ヘルメルソン、ウイスベルウエイからも指導を受けた。現在、パリ国立高等音楽院でフィリップ・ミュレルに師事。これまでにヴェルビエ音楽祭、ソー公園オランジュリー音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭（室内楽公演）、モンペリエ／ラジオ・フランス音楽祭、ラ・フォル・ジュネ音楽祭等に招かれた。サーリアホの作品を集めたデビューCDのレコーディングも予定されている。現在、シャルル＝アドルフ・ガン製作による1850年製の楽器を使用。